

# 教頭通信デジタル

令和4年10月14日（金）第18号

文責：備前市立三石中学校 早川政宏

## Morning English が始まりました

10月8日（土）、学習発表会が大成功に終わりました。そして、翌週の11日（火）からは2学期中間テストのテスト週間に入りました。部活動が停止し、放課後の勉強会がスタートしました。そして、今年度の本校の大きな取組であるMorning Englishがスタートしました。Morning Englishとは1人1台タブレット端末を利用した三石学園独自の英語学習のことで、月曜日から金曜日までの8時25分から8時35分までの10分間で実施します。令和4年度から三石・吉永地区は備前市教育委員会より「国際



（英語）教育重点地区」に指定されており、その取組の1つでもあります。Zoom配信による生徒朝礼を行うため、月曜日に実施できない週もありますが、1週間でトータル50分間の英語学習に取り組むこととなります。これは英語の授業時数が他の中学校よりも1時間プラスされることと同じで、英語力の向上に大きくつながると思います。

Morning Englishの初日であった11日（火）、教頭（早川）は校外への1日出張だったため、学習の様子を参観することができませんでしたが、翌日は各学年の教室にお邪魔しました。ヘッドセットを装着し、タブレット端末を操作しながら、静かな雰囲気の中で個別学習に取り組む姿がありました。10年前には想像できない光景で、驚きでした。やはり、三石中学校は国や県が推進する【国際理解教育】や【GIGAスクール構想における1人1台タブレット端末の有効活用】、そして、【AIドリルを活用した個別最適な学習】に積極的にチャレンジしている素晴らしい中学校だと改めて思いました。

Morning Englishは、英語教育のノウハウを熟知したECCが開発したアプリ「おもてなCity」を利用しています。基本の学習スタイルである単語(Word)や文(Sentence)、そして、会話(Conversation)の学習ができます。ヘッドセットを利用することで生徒たちは自らたくさん発話でき、つまずきや問題点がAIによる判定でクリアになり、苦手箇所の繰り返し学習が可能になります。ご自宅にタブレット端末を持ち帰った際には、是非とも「おもてなCity」をお子様と一緒に操作してみてください。

